



朱鷺と暮らす親善大使 里田まいさんが生きもの調査

6月7日

「朱鷺と暮らす親善大使」のタレント・里田まいさんが、朱鷺認証米の要件である、生きものを育む農法の「江の設置」「生きもの調査」「魚道の設置」を行いました。

地元農家のアドバイスを受けながら、生きものが暮らしやすい水田環境づくり励んだ里田さん。体力を使う作業も、コツをつかんで、楽しみながら行っていました。

また、5月に自らが田植えを行った田んぼを見学し、苗が順調に育っていることを喜んでいました。

モリアオガエルを発見！



6月第2日曜日と8月第1日曜日は 全島一斉生きもの調査の日

全国初の試みとなる、市全体での生きもの調査の第1回目が行われ、高野市長が「生きもの調査の日宣言」を行いました。宣言式では、いろいろな生きものへのあたたかい視点から、トキの野生定着や、人と自然が共存できる島を実現していくことが宣言され、その後、地元住民の皆さんが田んぼの生きもの調査を行いました。

第2回目は8月1日です。田んぼにはどんな生きものがあるのか、皆さんも調べてみましょう！



生きもの調査の日宣言



子どもたちも調査に参加

両津えびす祭り 6月15・16日

夷諏訪神社祭礼と両津夷本町商店街の感謝祭との合同祭である、「両津えびす祭り」が6月15・16日に夷商店街で開催されました。夷メインストリートを会場に、前夜祭（15日）では、地区対抗大綱引き大会をはじめ、鬼太鼓競演や住吉うしお樽囃子、シティバンド両津の演奏が行われました。また、ちょっと一息入れたいときの一口夜店や地酒コーナー、無料茶会も開設されました。16日には、子供神輿や子供鬼太鼓、乙女舞い、両津甚句の民謡流しの後、大御輿行列で祭りは最高潮に達しました。



幻想的な雰囲気 しとやかな舞 京町音頭流し「宵乃舞」 6月5日

相川地区の風情ある「京町通り」を舞台に、「宵乃舞」が開催されました。日没後、地方の「相川音頭」が響くなか、ぼんぼりのやわらかな灯りが踊り手を照らし、優雅に流れる舞に、詰めかけた観客からは感嘆の声があげられました。毎年、島内外から多くの踊り手が参加し、今年は過去最高の23団体が流しました。



花の植栽で地域づくり 6月12日

泉区（金井）では、地元住民による花の植栽が行われました。正法寺、本光寺、御所滝などにあじさいややまぼうしなどが植えられ、黒木御所跡には、順徳上皇が歌に詠んだと伝えられている、みやこわすれが植えられました。

初夏の日差しが降りそそぐ中、額に汗しながら作業に取り組む姿に、地域への想いが伝わってきました。

